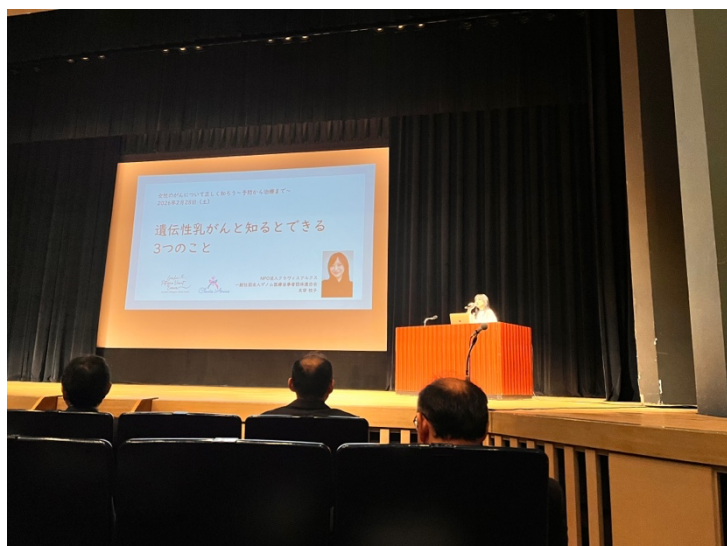


～ 理事長だより ～ Vol.14

市民公開講座 in 富士 を開催しました。

2026 年 2 月 28 日、富士市の富士市文化会館 ロゼシアターで、富士市、中外製薬株式会社の共催で、市民公開講座 in 富士を開催いたしました。

今回は、「女性のがんについて正しく知ろう ～予防から治療まで～」というテーマで、乳がんの話題、子宮頸がんの話題につき、関係専門家医師より、また、遺伝性乳がんに関して、当事者会代表の方より、ご講演いただく内容でした。



会場は、富士市の中心にあり、いかにも芸術的なイベントを行うべくして作られたロゼシアターの中ホールで、約 200 名の方にご参加いただきました。

司会は、静岡県民お馴染みの“ズミさん”こと、ラジオパーソナリティーの高橋正純さんで、軽妙な話術で、会場の場を和ませていただきました。

最初に、当法人の梶本理事、小倉理事より、乳がんの基礎知識、検診による早期発見・早期治療の大切さを伝えていただきました。その後、がんセンター婦人科の武隈部長より、子宮頸がんのワクチン接種、検診の重要性について、熱く語っていただきました。3 名の方の講演のあと、短い時間ではありましたが、質疑応答の時間を設け、活発な質疑が交わされました。途中、医療費に関する話題も出てきて、切実な現状があると再認識しました。想定外に参加者の皆さんからの熱心な質問が多く、全ての質問に答えられる時間を設定しておらず、反省材料となりました。

休憩を挟んで、後半は、乳がん看護認定看護師である正木理事から、ブレスト・アウェアネスの重要性についての講演、その後、遺伝性乳がんの当事者である、NPO 法人クラヴィスアルクスの代表理事の太宰様より、自分の経験談を交えて、遺伝性乳がん卵巣がん症候群

(HBOC)という疾患の話題提供がありました。乳がんにかかる方の5～10%は、BRCA1/2という遺伝子の機能不全で発症すると言われており、いくつかの特徴的な所見を有しているため、HBOCと呼ばれています。自分の体質を知り、それを、人生に活かす重要性につき、熱く熱く、伝えていただきました。

今や9人に1人は乳がんにかかる時代です。なかなか身の回りに乳がんにかかった方がいるのに気づいていないことが多いのですが、実際、身近な病気となっています。引き続き、自分の家族、知人、職場仲間など多方面の方々に、ブレスト・アウェアネスを合言葉に、自分の身は、自分で守るという意識を広げてもらえればありがたいと感じました。



最後に、会の準備、設営、運営に携わっていただいた中外製薬の関係者の皆様、サポートメンバーの皆様方、厚く御礼を申し上げます。また、今年の秋に、沼津市で市民公開講座を開催する予定です。多くの方々に、乳がんに対する理解が深まり、互助の精神が広まっていくことを強く願っております。

NPO 法人 ふじのくに乳がん交流サロン

理事長

西村 誠一郎

